

6) か き

(1) 防除法 (殺菌剤)

【注意】乳剤及び水和剤等で「150～300ℓ」等と記載した 10a 当り散布液量（または希釈水量）は、作物の生育段階や散布作業等を考慮した目安である。農薬使用に当たっては、必ず農薬容器のラベルを確認し、使用方法に散布液量（または希釈水量）の記載がある場合は、その量を遵守すること。

病 害 虫 名	防除適期	防 除 方 法	備 考
うどんこ病	落葉期間 (11月～3月) 5月中旬 ～6月中旬	○ 園内を清掃する。 ○ トップジンM水和剤を散布する。	
落葉病 (角斑落葉病、円星落葉病)	落葉期間 (11月～3月) 6月上旬 ～8月中旬	○ 園内を清掃する。 ○ 肥培管理に注意し樹勢を旺盛にする。 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 ストロビルリン系剤 アミスター10フロアブル DMI 剤 オンリーワンフロアブル チオノックフロアブル トレノックスフロアブル キノンドーフロアブル キノンドー水和剤 40 ゲッター水和剤	○ ストロビルリン系剤の使用は年2回までとし、連用しない。(耐性菌出現防止) ○ DMI 剤の使用は年2回までとし、連用しない。(耐性菌出現防止)
炭 疽 病	休眠期 6月～9月	○ 次の薬剤いずれかを散布する。 2-10式ボルドー液 キノンドーフロアブル キノンドー水和剤 40 トップジンM水和剤 ベンレート水和剤	○ トップジンM水和剤、ベンレート水和剤は連用を避ける。(耐性菌出現防止)